

研究課題名「脳血管内治療におけるバルーン加圧式ベルト導入効果の検証」に関する情報公開

1. 研究の対象

2019年4月1日～2020年3月31日に当院7E病棟の入院し血管内治療を鼠径部より受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

血管内治療を鼠径部の血管から実施すると一定時間の安静が必要となり、腰痛や皮膚トラブルが発生することがあります。それらの低減を目指してバルーン加圧式ベルトを2019年度中に導入する予定です。導入に伴う効果（腰痛、皮膚トラブル、穿刺部血腫の発生など）を調べるのがこの研究の目的です。上記対象の患者さんのカルテ情報を対象としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、疾患、術式、穿刺部血腫の発生の有無、腰痛の程度、表皮剥離の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究の関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

<研究責任者>

名古屋大学医学部附属病院 看護部 7E病棟 井馬 里海

名古屋大学医学部附属病院 7E病棟

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-7444-2927